

『クラブ活動について』

はじめに

このたびの活動報告は長岡教室修了後、現在も活動中の内、活動資料の確認ができたハイキングクラブと写真クラブを以下に紹介したい。

(付記)

クラブ活動は在学中の2012年7月に発足、四つのクラブがあり、現在も活動を続けている。

1. じねん（自然）ハイキングクラブ（旧ハイキングクラブ）

- 会則 あり（会の運営と安全、楽しく無理のない活動ができるよう、8項目）
- 会費 1000円/年（主に「月報」通信費、コピー費、活動費は実費）
- 正会員数 19人（活動内容により他クラブと連携）

(1) 活動内容

- 総会 年1回（活動・決算報告、次年度活動予定、全般討議）
- 活動期間 4月～11月（ハイキング期間8ヶ月、新年会1月）
- 月報 月1回発行（はがきに定例会と翌月の山行き案内）
- 定例会 毎月第四水曜日（計画者がコース説明、時間、見所、難易度 など「自分でいけるか」判断材料を説明、参加者を募る。そして「登山計画書」を提出、安全優先で実行。健脚向けに年1回百名山に挑戦）

活動例 2014/4～2015/1

4月9日	国営越後丘陵公園	かたくりの群落
5月7日	雪国植物園 里山	原子力発電所見学
5月28日	刈羽黒姫山	(中止)
7月2日	雄国沼	日光キスゲの群落
8月6日	八海山	ロープウェイ
9月3日	刈羽黒姫山	じよんのび温泉
10月3日	信越トレイル	伏野峠～花立山
11月5日	八石山	山閉じ
1月28日	新年会	越の湯（与板）

じねんハイキングクラブ資料より抜粋



7月 バスハイキング雄国沼にて



9月 刈羽黒山山頂にて

裏面に続く

(2) 人気行事

低い山と「山閉じ」に人気があり、参加率80%、特に「山閉じ」は列車で気軽に行け、安全で景観に恵まれた環境の八石山頂上で焼き肉やワインで乾杯をして、一年間の山登りを閉めている。

絆を一層深くしている好評の活動で、毎年恒例行事となっている。

じねんハイキングクラブ資料より抜粋



2. 生き生きフォトクラブ (旧写真クラブ)

- 会則 あり (借用会場により必要、目的、役員、会計、活動内容 など)
- 会費 3000円/年 (主に額縁購入 など、収支結果、会費の変動あり)
- 正会員 9人 (活動内容により他クラブと連携)

(1) 活動内容

- 総会・懇親会 3月/年 (活動報告、決算報告、活動予定、懇親会)
- 活動期間 4月～3月 (1年中)
- 定例会 毎月第四金曜日 (撮影会確認、作品評価、意見交換 など)
- 他地域との交流 技術交流、作品展示 (銀行 など)

撮影テーマ例

2014～2015

4月	国営越後丘陵公園 (じねんハイキングクラブと連携)
5月	山古志の錦鯉
6月	三条下田・高城ヒメサユリ (じねんハイキングクラブと連携)
7月	大口レンコン・見附イングリッシュガーデン
8月	花火 など (個別撮影)
9月	花火 など (個別撮影)
10月	野鳥撮影
11月	紅葉狩り撮影
12月	冬景色
1月	賽の神
2月	雪灯籠
3月	個人で自由撮影

生き生きフォトクラブ資料より抜粋

(参考写真)



八重のコスモス (越後丘陵公園)



棚田の秋 (山古志)

(2) 作品展示 など

- ・ 作品展示は某銀行で1週間、観賞結果を寄せられた方に「写真入はがき」を贈る
- ・ デジカメでの撮りかた講習、地元写真の展示 (与板地域 など)
- ・ 暑気払い、忘年会 などを実施、活性化と他クラブとの交流促進

おわりに

(1) 活動は殆んど屋外活動で天候に左右されることが多く、今年は2回位中止。

(2) 年を重ねるごとに参加者の減少傾向、いつまで続けられるか？

年1回のクラス会で報告PRを行っているが、更に入念に行い、趣味仲間の良さを少しでも理解、状態に合った内容で存続を図ってゆきたい。

最後に資料をご提供の小林(国)氏、丸山氏に感謝申し上げます。